

2008年4月24日  
活性化WG

電気系同窓会

# 活性化WGの活動状況

◇開催状況:

- 10/9 本郷(新体制キックオフ)
- 11/10 本郷(理事会と併設)
- 12/10 本郷
- 1/17 本郷
- 2/21 本郷
- 4/15 本郷

- ◇コアメンバー: 新谷、渡部、畠山、赤松、江村、谷、三浦、友近  
<職員>小田、相澤、池田、山下、峯松、岩本

2008年4月24日

企画幹事 峯松信明

活性化WG 渡部直也

# 同窓会の活性化を目指して

【狙い】 顔の見える関係づくり(ソーシャルネットワークの形成)  
会員同士の繋がりを醸成する場として各会員が仕事や社会生活に活用すること

【活動1】ホームページ運営 → 約1万アクセス/年間

【活動2】会報に替わるWeb縮刷版準備

【活動3】総会日程をホームカミング日に併設

【活動4】同窓会名簿の扱い

【活動5】評議員アンケート実施

活性化WGの活動

ソーシャルネット型  
同窓会  
(2012年度～)

活発なプロジェクト提案・運営  
先進事例として対外情報発信

ICTの活用促進

2008年度

2010年度～

<情報交流の活性化>

ホームページでの情報交流  
ホームページでの課題提起/対応プロジェクト  
(会内での先行的コミュニティの立上げ)

2007年5月

<従来同窓会>  
会報・名簿型

<ICTベースの構築>

本体HPでの情報掲載  
クラス単位のページ構築  
会員との双方向チャネル構築(クラスIT担当者のメーリングリスト)



# 評議員アンケート(狙いと回答状況)

---

## ■ アンケートの狙い

- 1) 新しい同窓会の方針(顔の見える関係づくり)についての意見集約
- 2) クラスのIT化状況把握
- 3) 同窓会とクラスを結ぶメーリングリスト構築の第一ステップ

## ■ アンケートの実施方法

- 全体80クラスを対象
- 1月末に各クラスの評議員に郵送、メール配信を行い、3月末で集計

## ■ 回答状況

- 42クラスから回答 (80クラス中)

# 評議員アンケート(回答の分析)

- 同窓会の新たな方向「顔の見える関係づくり」 → 方向性OK
  - 「賛成」と「賛成だが課題あり」を併せて97%の支持
  - 主な課題: → 課題解決に向けた検討が必要
    - 1)シニア層でネットを利用しないメンバ対応
    - 2)「顔の見える関係づくり」の具体化
    - 3)セキュリティ管理
- ホームページの認知度 → アクセス増加作戦が必要
  - 「知っている」が50%
  - しかし、「ほとんど見ない」が大勢
- クラスのIT化状況 → メールベースの情報チャネル検討へ
  - 1950年代以降ではメールによる連絡が多い
  - 回答があったクラスでは、メールカバー率は44%
- IT担当者の新設について → 同窓会メールリングリストの試行へ
  - 評議員が兼務(14クラス)、新規に選出(16)、検討中(11)